



図書館通信

中高生版 2022年5月号 No.11

お知らせ

～ひとみキラキラ 本にドキドキ～

SDGs特集の本を借りて

**長与町オリジナルトレットペーパーを
ゲットしよう!!**

5月11日まで、こどもの読書週間の催しがあります。
中学生のみなさんは、スタンプラリーに参加できます。
(高校生のみなさん、ごめんなさい🙇)
この機会にぜひ、図書館へ足を運んでくださいね。

～スタンプラリーについて～

5月11日までに「みんなで知ろう SDGs」特集の本を
3回借りたら、長与町オリジナルトレットペーパーをプレ
ゼントします。本をかりるときにスタンプカードをわたしま
すので、スタンプを3つ集めてください。

ただし、スタンプは1日に1つです。

参加対象は、中学生までです。

新着図書

<YA・小説>

『タブレット・チルドレン』

村上 しいこ／作
かわい ちひろ／絵・漫画
さ・え・ら書房

<YA・小説>

『スネークダンス』

佐藤 まどか／作
小学館

<YA・小説>

『香君 上・下』

上橋 菜穂子／著
文藝春秋

<YA・小説>

『サムデイ』

デイヴィッド・レヴィサン／作
三辺 律子／訳 小峰書店

<YA・小説>

『5分後に犯人に迫る
ラスト』

エプリスタ／編
河出書房新社

<YA・社会>

『少年のための少年法
入門』

山下 敏雅、牧田 史、西野 優花／
監修 旬報社

<YA・学習>

『高校の勉強のトリセツ』

船登 惟希、山下 佳祐／著
伊藤 ささみ／マンガ 学研プラス

<YA・料理>

『生き抜くためのごはん
の作り方』

河出書房新社／編
有賀 薫ほか／著 河出書房新社

<一般・小説>

『レジェンドアニメ!』

辻村 深月／著
マガジンハウス

<一般・小説>

『おしゃべりな部屋』

川村 元気、近藤 麻理恵／著
中央公論新社

図書館
カレンダー

この印が休みの日です

5月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

6月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

開館時間 10時～18時



図書館の中はマスク着用で
お願いします。

今月の特集コーナー

<児童書テーマ> **「お金と経済について学ぼう」**

『学校では教えてくれない稼ぐ力の身につけ方』

(小幡 和輝／著 若林 杏樹／マンガ 小学館)

AIに仕事を奪われる？就職した会社が倒産！セクハラ・パワハラ・リストラ!!などの将来の不安をなくすためには、起業という方法もあります。それを教えてくれるのは、10年間の不登校と18歳での起業経験を持つ会社社長です。



<一般書テーマ> **「緑の力で心を潤そう」**

『オリーブのすごい力』

(小豆島ヘルシーランド株式会社／編著 小豆島ヘルシーランド)

長与町では、オリーブの栽培が盛んに行われています。このように長与町とオリーブはとても縁が深いのですが、みなさんはオリーブについてどれくらい知っていますか？樹齢3000年という木があるほど長寿だということ、実だけでなく葉や幹も加工し商品化されていることなど、目から鱗が落ちる情報満載です。

はっさくさんの本棚



<このコーナーの主>
ミツクンのおじいちゃん
はっさくさん

今月は「教科書」をテーマに、はっさくさんがブックトークをします。

わしは子どものころ学校で教科書をもろうと、うれしくてその日のうちに全部読んでしまうくらい、教科書が好きだったんだよ。大人になって教科書がなくなり寂しく感じておったところ、こんな本をみつけたんじゃ。『いつの間に?!ココまで変わった学校の教科書』は、昭和・平成と現在の教科書を比較しておるのじゃが、みんなの教科書は、わしの子どものころに比べて大きさも内容もずいぶん違うのう。でも、80年以上変わっていないものもあるぞ。それは文字じゃ！まるで手書きのような書体は、見やすくいいのう。

しかし時代が変わると、教科書の内容まで変わってしまうとは！わしが学んだことは、無駄になってしまうのじゃろうか…。と思っていたら、こんな本があったぞ。『人生に必要な教養は中学校教科書ですべて身につく』には、テレビなどでニュースの解説をしている池上彰さんが、教科書を読んで「へえ、そうなんだ」と気づかされたことがあったと書かれておる。この本でわしは、電子マネーの仕組みが教科書に書かれておること初めて知ったぞ。生活に役立つ知識が教科書からたくさん学べるようじゃのう。

池上さんは「地理は世界を理解するための基礎知識」と述べているが『旅がもっと面白くなる地理の教科書』を読むと、旅先のことに関心がわいてきて、より深く旅を楽しめそうじゃ。例えば、なぜペンギンは寒い地域に住んでおるのじゃろうか？ペンギンは1日に5～10kgも食べるほど大食いな生き物じゃ。寒い地域にそれほど多くのエサはあるのじゃろうか？この謎も地理の教科書を読めば解けるかもしれんぞ。

教科書の魅力を、もっと探してみないかい。

【「はっさくさんの本棚」で紹介された本は全て長与町図書館で借りられます】

『いつの間に?!ココまで変わった学校の教科書』（コンデックス情報研究所／編著 成美堂出版）

『人生に必要な教養は中学校教科書ですべて身につく』（池上 彰、佐藤 優／著 中央公論新社）

『旅がもっと面白くなる地理の教科書』（松本 穂高／著 ベレ出版）